



37 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6
国際ロータリー第2660地区

大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網嶋町9番10号 太閤園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：太閤園
会長：濃添敬造/幹事：吉羽潤司/SAA：中村浩一
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



ロータリーは機会の扉を開く

特別会報 8月号

大阪鶴見ロータリークラブの皆様、ご無沙汰いたしております。

幹事報告、委員会報告にもございますが、このたび、休会中に月1回程度の会報を発行することになりました。

今回は、その第1号です。会員、特に新入会員の皆様相互のコミュニケーションに、少しでもプラスになれば幸いです。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、臨時休会

- <第1680回>2020年 8月 4日 本年度 第4回
- <第1681回>2020年 8月18日 本年度 第5回
- <第1682回>2020年 8月25日 本年度 第6回

前回の報告

会長インフォメーション

PRESIDENT INFORMATION

会長：濃添 敬造

立ち止まって 自分の心を見つめる時代

8月も終盤、いまだ新年度の例会は2回しか開催できておりません。

皆さんお元気で過ごしのことと拝察します。

今年の夏は、誰も体験したことのない奇妙な夏がすぎています。

新型コロナウイルスの感染拡大、豪雨被害、熱帯を思わせる暑さなど不安になることばかりです。

私たちが生きていく上でさまざまな問題に対して、情報を知り、最善のそなえをすることは大切です。

しかし洪水のように入ってくる情報に、心が無防備にさらされればなしでいると、精神が不安定になってきますよね。

そして心が不安定になってしまいますと、体の免疫力も低下させることになってしまいます。

ですから現代に生きる私たちは、自分の心が壊れないように予防していく必要があると思います。

皆さんは心を安定させるための予防策を何かお持ちで

しょうか？

音楽をきく、スポーツをする、散歩・・・様々ありますが、この数年脚光を浴びてきたのが、アメリカ・シリコンバレーのグーグルやアップル、インテルなどの会社が行っている『マインドフルネス』です。

瞑想して、自分自身と向き合い、心を安定させるというものです。

マインドフルネスは心の安定だけではなく、免疫力の向上にもつながるとい報告もあるようです。

こころの安定と言っても、“言うはやすし、行うはがたし”で、なかなか雑念というものはおさまりません。

心を静めて座ったつもりでも、あれやんなきゃ、これやんなきゃ、あ～あの人の一語腹立つな、ああ、あの時こうしておけばよかったのになあ、などなど、思考の流れを止めるのは難しいことです。

そんなとき瞑想をしてみてもいいのでしょうか。

デスクワークしながら、企画書を書いたり、集中力が上がるかもしれません。

自分で心の健康を守らないといけない時代に、一つのヒントにしてみてください。

雑念の中でひたすらもがいている私の提案でした。

会員増強・新クラブ結成推進月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「Regrowth(再び成長する)の機会を！」

嬉しいご報告です。米山記念奨学会より去る7月に第40回米山功労者のメジャードナーとして発会員に感謝状が届いております。同時に送られてきたクリスタル盾については、例会開催の際に発会員にお渡しいたします。それに伴い、第30回 米山功労クラブとして我が大阪鶴見ロータリークラブへ米山記念奨学会より感謝状が届いております。

8月18日にオンライン会議にて開催されました理事会について報告いたします。

コロナ禍における例会開催基準として、例会の前週水曜日の時点で大阪府の警戒信号が黄色または赤の場合その週の例会は休会とすることが決定されました。

また例会が殆ど開催されない状況において、会員間の意思疎通の為に 会報を 月1回程度作成し、郵送することになりました。

特に、今年度から入会頂きました新人会員の方々にとっては、入会したものの歓迎会は疎か、例会も開催されず、ただでさえ理解の難しいロータリーについて、ほとんど理解が進んでいない状況となっているかと思えます。

この為にも、この期間の会報においては、各委員長を始めとした執筆者が、主に新入会員に向け、ロータリーである意味やメリットを各委員の立場から、執筆して頂くと、新入会員のみならず、全会員にとっても改めてロータリーについて考える良い機会になるかと思えます。執筆を依頼された方は、大変恐縮ですが、ご協力頂けますようお願いいたします。

その他に

鶴見区花博30周年記念事業の協力における植樹寄付金を15万円を本年中止となった区民祭りの予算から拠出すること

ライトミールについて、今期に限っては例会開催回数が減少することからライトミールを中止にして通常の食事とすることが決定されました。

以上 理事会の報告も含めまして、幹事報告とさせていただきます。

8月18日(火)に実施されました理事会におきまして、例会休会期間に、月1回のペースで会報を発

行・郵送することに決定いたしました。その目的は、1)会員間の意思疎通、2)新入会員支援 の二つです。

そこで、通常の会報に加わる形で、皆様に原稿等のご依頼をさせていただくことになると思えます。

一つは、新入会員向けに、ロータリアンであることの意味、心構えや、ロータリーの歴史、知識を記す原稿です。これはロータリー情報委員会の皆様をはじめ、各委員会の委員長の皆様をお願いすることになります。

もう一つは、卓話の要約版原稿です。これはその月の卓話担当の会員の皆様をお願いすることになります。記事を書いていただいたことにより、卓話をした扱いになるようです。

休会状態が続く異常な状況の中で、会報担当の各委員も精一杯努力する所存ですので、どうか皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

8月の表彰とお祝い

◆誕生日

8月1日 水口 敦司
8月27日 小山 義之

◆在籍年数

36年 西野 政治、 田中 信明
29年 水間 頼孝
25年 菊井 康夫
16年 山本 良一
8年 大草 修
1年 水口 敦司

◆ホームクラブ10回連続賞

小山義之
水口敦司

◆結婚記念日

なし

◆事業所創立日

8月1日 山本 良一
8月20日 源 壽美子

各会員

ガバナー補佐訪問 報告

担当: 吉羽幹事

8月4日にガバナー補佐訪問があり、我が鶴見ロータリークラブの例会は休会でしたが藤田ガバナー補佐と濃添会長と私の3名にて太閤園 蔵の間に於いてガバナー補佐訪問を受けました。

内容について下記に報告いたします。

コロナ禍におけるロータリー活動に地区としても苦慮しているものの、8月25日に予定しているガバナー訪問については、少人数でも、オンラインとなっても敢行していく方針とのことで、我がクラブについても濃添会長、私、鳥居会長エレクト、須田副幹事の4名がオンラインにて、予定通りの日程である8月25日にガバナー訪問を受けることとなりました。

他の地区のイベントとして委員長会議や12月地区大会、ロータリーデイについても、一部会員だけ会場に集まり、他会員はオンラインで参加にはどうかなど検討中とのことで、この状況にて苦慮されています。

フレッシュロータリアン研修についても若手を集めて、各クラブにてオンライン会議が実施できるように各クラブのインフラ構築の場にしたいたいとのお考えや、奉仕活動についても、ITを使った奉仕活動が良いと思い、米山奨学生や、留学生に先生になってもらい、地域の英語のレベルを上げる活動や、交野RCがテレビ会議システムを小中学校に提供していることを紹介され、ロータリー活動においてもIT、オンラインの必要性を主張されていました。

以上 ガバナー補佐訪問についての報告です。



コラム

ロータリーのいろは ～「ロータリーの樹」～

山崎修一

私は2019-20年度におきまして、国際ロータリー第2660地区の職業奉仕委員長を務めさせていただきました。

その際に、地区委員の皆様とともに以下の二つの「卓話モデル」を作成いたしました。

- ・卓話モデル1
「ロータリーの職業奉仕 歴史と変遷」
- ・卓話モデル2
「知っておきたい四大用語」

その卓話モデルは、地区のホームページの「地区委員会情報」→「職業奉仕委員会」

(<https://www.ri2660.gr.jp/ac/c11/>)

に掲載されておりますので、特に新入会員のかたは目を通していただきたいと思います。

今回は、その中でも「基礎の基礎」とも言える「ロータリーの樹」(昨年の地区大会にお越しいただきました元RI理事渡辺好政氏による提唱)について、その「卓話モデル2」からの抜粋を以下に示すことにいたします。「ロータリーの樹」によって、ぜひ、ロータリー活動の全体像を把握していただければ幸いです。

(以下、抜粋)

「ロータリーの樹」はロータリーの職業奉仕を理解する最も良い資料です。

ロータリーの樹の歴史ですが、これは2008年RI国際協議会の全体会議において、渡辺好政RI理事が「ロータリーの樹・2008」と銘打ってロータリーを「1本の樹」に例えて、ロータリーの奉仕活動における職業奉仕の位置づけを行いながら、「ロータリーにおける職業奉仕の重要性について」の講演を行った時のものを一部修正し、シカゴにおいて開催された2013年RI規定審議会の審議を経て採択されたものであり、このロータリーの樹は基本理念である、The ideal of service (奉仕の理念) を実践する手段が職業奉仕であることを解り易くした図です。

このロータリーの樹を「奉仕」という視点から見ますと、クラブ奉仕はロータリーの樹に水と栄養を

(3ページより)

送る「根」であり、職業奉仕はその上に成長する「幹」です。そして枝が伸びて実った果実として青少年奉仕、社会奉仕、国際奉仕あるいは米山奨学金、ロータリー財団に基づく奉仕活動などがあります。

また「根」としてはクラブ奉仕の他に、「ロータリーの目的」や「四つのテスト」、そして「超我の奉仕」、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という二つの標語が示されています。そして「幹」として、職業奉仕と並んで「奉仕の理想」が記されているわけです。

このように、ロータリーの活動の概念を視覚的に理解できるように表現しているのが、このロータリーの樹だと言えるでしょう。

渡辺好政氏は、以下のように述べています。

「1905年、ポール・ハリスら4名によって創始された最初のロータリー・クラブは、その歴史が示すように、初めに、親睦、助け合いから始まりました。すなわち、ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」は「クラブ奉仕」であります。ロータリー・クラブ会員は、クラブという学校で相手のことに思いを馳せ、相手を助けるという『奉仕の理想』を学び、その真意が『共存共栄』であることが、このロータリーの樹から解ると思います。『クラブ会員』は、ロータリーの目的を基本として、ハーバート・テラーによって実証され、ロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体得することによって、『ロータリアン』に進化してまいります。ロータリーは「理念の高唱」に終わるのではなく、「行動の哲学」なのであります。」

